

昭和50年3月卒 還暦記念同窓会を開催しました

還暦記念同窓会実行委員会一同

昭和50年3月卒 還暦記念同窓会を11月19日（土）午後6時から松本東急REIホテルで行いました。

当日は、草間同窓会長、青柳校長先生、恩師の猪爪・松下先生方においていただき、卒業生84名が参加、総勢88名での同窓会となりました。

大型スクリーンによる各クラスの入学、修学旅行、卒業写真また学校行事等でのスナップ写真の映写、恩師への感謝の言葉を色紙へ寄せ書き、恩師からのお言葉、校歌の斉唱など、還暦という年を迎えましたが、皆、卒業当時に若返って楽しいひと時を過ごしました。

万歳三唱で幕を閉じたわけですが、それぞれのクラスで二次会会場へと消えていき、松本の夜を楽しまれたのではないかと思います。また、これを機に同窓生の絆の輪が広がっていけば幸いです。

また、開催に当たっては、松工同窓会事務局・関係者の皆様の多大なご支援、ご協力を賜り深く感謝申しあげます。

なお、今回の同窓会清算金319,720円につきましては、同窓会を通じて2月9日に松工校長室にて実行委員会代表で青柳校長に母校へ219,720円、松工同窓会へ10万円を贈呈いたしました。



還暦記念 母校へ寄付

松本工 昭和50年卒業生

卒業以来で、恩師も臨席して盛り上がったという。母校への寄付金を含めて1万円ずつ会費を集めた。

(鎌倉 希)

「生徒の活動のために使わせていただきた

「還暦記念窓会」

は毎年60歳の節目を迎えた学年が開催しており、88人が出席した。

学年全体となる6クラスが一堂に会するのは

「在籍生は優秀で活躍している鼻が高い。役立ててもらえれば」と

願った。青柳校長は

実行委員長の

3人が訪れ、

松本工業高校を昭和50年3月に卒業した同窓生らが9日、母校へ30万円を寄付した。昨年11月に松本市内で開かれた「還暦記念窓会」の会費の一部を充て、青柳徹校長に手渡した。

実行委員会の役員ら

3人が訪れ、斉藤敏男実行委員長(60)は

「在籍生は優秀で活躍している鼻が高い。役立ててもらえれば」と

願った。青柳校長は



寄付金を手渡す斉藤実行委員長ら